

一般貸切旅客自動車運送事業法令試験問題

【注意事項】

1. 試験時間は、40分です。
2. 試験開始の合図があるまで、問題は開けないでください。
3. 問題用紙は、表紙を含めて5枚です。
4. 問題用紙は、持ち帰らないでください。
5. 不正な行為をされた場合は、直ちに受験を停止し、退場いただきます。
なお、試験は不合格になります。
6. 解答が終わり途中退室を希望される方は、挙手にて係員にお知らせください。
係員が試験問題等を回収した後、他の受験者の迷惑とならないよう静かに退出ください。

※携帯電話等の電源は他の受験者の迷惑となりますので、必ず電源をお切りください。

近畿運輸局

一般貸切旅客自動車運送事業の許可申請に係る法令知識について

- ・以下の各設問の()内に、関係法令を踏まえ、最も適切な語句を〔 〕から選択し、別紙の解答用紙に記入してください。

1. 一般貸切旅客自動車運送事業は、アルコール検知器を用いて運転者の酒気帯びの有無について確認を行うときは、当該確認に係る呼気の検査を行っている状況の写真(当該運転者を識別できるものに限る。)を撮影して電磁的方法により記録媒体に記録し、かつ、その記録を()保存しなければならない。ただし、当該状況を録画する場合はこの限りでない。
〔A. 六十日間 B. 九十日間 C. 百二十日間〕

2. 旅客自動車運送事業の事業用自動車の運転者の要件は、()以上(受験資格の特例教習の修了者を除く)であり、第二種免許を取得し、その効力が停止されていないこと。
〔A. 十八歳 B. 二十一歳 C. 二十四歳〕

3. 旅客自動車運送事業者は、事業用自動車の運転者等ごとに、一定の様式の()を作成し、これを当該運転者等の属する営業所に備えて置かなければならない。
〔A. 履歴書 B. 乗務員等台帳 C. 乗務員証及び保安員証〕

4. 旅客自動車運送事業者は、運転者として新たに雇い入れた者に対して、事業用自動車の運行の安全を確保するために遵守すべき事項について特別な指導を行い、かつ、国土交通大臣の認定を受けた()を受けさせなければならない。
〔A. 指導教育 B. 健康診断 C. 適性診断〕

5. 一般旅客自動車運送事業者は、()により、旅客の運送をしなければならない。
〔A. 車両に乗り込んだ順序 B. 運送の申込みを受けた順序 C. 運賃等を支払った順序〕

6. 旅客自動車運送事業者は、事業用自動車に係る事故が発生した場合には、乗務員等の氏名等の記録を当該事業用自動車の運行を管理する営業所において()保存しなければならない。
〔A. 六ヶ月間 B. 一年間 C. 三年間〕

7. 一般貸切旅客自動車運送事業の運転者の1日の休息期間は、勤務終了後、継続11時間以上与えるよう努めることを基本とし、継続()を下回ってはならない。
〔A. 8時間 B. 9時間 C. 10時間〕

8. 旅客自動車運送事業者は、自動車が転覆し、転落し、火災を起こし、又は鉄道車両と衝突し、若しくは接触した事故であり、死者又は重傷者を生じた場合は、電話、その他適当な方法により、() 以内においてできる限り速やかに、その事故の概要を運輸監理部長又は運輸支局長に速報しなければならない。
- [A. 十二時間 B. 二十四時間 C. 四十八時間]
-

9. 旅客自動車運送事業者は、事業用自動車の運転者が転任、退職その他の理由により運転者でなくなった場合には、直ちに、当該運転者に係る乗務員等台帳に運転者でなくなった年月日及び理由を記載し、これを() 保存しなければならない。
- [A. 一年間 B. 三年間 C. 五年間]
-

10. 旅客自動車運送事業者は、() に対し、輸送の安全及び旅客の利便を確保するため誠実に職務を遂行するよう指導監督しなければならない。
- [A. 乗務員等 B. 従業員 C. 運行管理者]
-

11. 旅客自動車運送事業者は、事業用自動車の運行を中断したときは、当該自動車に乗車している() 適切な処置をしなければならない。
- [A. 事業者のために B. 旅客のために C. 乗務員等のために]
-

12. 旅客自動車運送事業者は、毎事業年度の経過後() 以内に管轄する地方運輸局長(国土交通大臣)に当該事業年度に係る事業報告書を提出しなければならない。
- [A. 三十日 B. 六十日 C. 百日]
-

13. 一般貸切旅客自動車運送事業者は、運転者等が事業用自動車の運行の業務に従事したときは、運転者等の氏名等の事項を運転者等ごとに記録させ、かつ、その記録を() 保存しなければならない。
- [A. 六ヶ月間 B. 一年間 C. 三年間]
-

14. 一般旅客自動車運送事業の譲渡及び譲受は、国土交通大臣の() を受けなければ、その効力を生じない。
- [A. 許可 B. 認可 C. 承認]
-

15. 旅客自動車運送事業者は、死者又は負傷者が生じた事故を引き起こした運転者に対して、事業用自動車の運行の安全を確保するために遵守すべき事項について特別な指導を行い、かつ、国土交通大臣の認定を受けた() を受けさせなければならない。
- [A. 指導教育 B. 健康診断 C. 適性診断]
-

16. 旅客自動車運送事業者は、過労の防止を十分考慮して、国土交通大臣が告示で定める基準に従って、事業用自動車の運転者の（ ）及び乗務時間を定め、当該運転者にこれらを遵守させなければならない。

[A. 休憩時間 B. 勤務時間 C. 出勤時間]

17. 一般貸切旅客自動車運送事業者は、（ ）に運行指示書を作成しなければならない。

[A. 運転者等ごと B. 車両ごと C. 運行ごと]

18. 旅客自動車運送事業者は、事業計画の遂行に十分な数の事業用自動車の運転者を常時（ ）しておかなければならない。

[A. 指導 B. 選任 C. 募集]

19. 一般旅客自動車運送事業者は、営業所ごとに配置する事業用自動車の数の変更をしようとするときは、あらかじめ、（ ）を国土交通大臣に届け出なければならない。

[A. 事業計画変更事前届出 B. 運行計画変更事前届出 C. 業務計画変更事前届出]

20. 輸送の安全を確保するための貸切バス選定・利用ガイドラインは、旅行業者、地方自治体、学校関係者等の利用者に貸切バス事業者の選定に際して、運行の安全面のポイントを分かりやすく示すことにより、単純な（ ）比較のみで選ぶのみではなく、より安全にも留意した選定を促すことを目的としている。

[A. サービス B. 価格 C. 車両]

21. 一般旅客自動車運送事業者は、運賃及び料金並びに（ ）を営業所に公示しなければならない。

[A. 就業規則 B. 運送約款 C. 運行管理規程]

22. 一般旅客自動車運送事業者は、（ ）の変更をしようとするときは、国土交通大臣の認可を受けなければならない。

[A. 運行計画 B. 事業計画 C. 運行回数]

23. 一般貸切旅客自動車運送事業について、36協定で定める労働者の時間外労働の限度時間は、1か月45時間及び1年360時間となっており、臨時的にこれを超えて労働させる必要がある場合であっても、自動車運転の業務については、1年（ ）以内としなければならない。

[A. 720時間 B. 840時間 C. 960時間]

- 一般旅客自動車運送事業者は、発地及び着地()その営業区域外に存する旅客の運送(路線を定めて行うものを除く)をしてはならない。
- 24.

[A. のいずれもが B. のどちらかが C. に関係なく]

- 旅客自動車運送事業者は、()以内の期間を定めて使用される者を事業用自動車の運転者等として選任してはならない。
- 25.

[A. 二月 B. 六月 C. 一年]

- 「旅客自動車運送事業運輸規則第47条の7第1項の規定に基づき、旅客自動車運送事業者が公表すべき運輸の安全に関する事項(国土交通省告示第1089号)」において()については、公表すべき事項として定められていない。
- 26.

[A. 事務員の数 B. 輸送の安全に関する基本的な方針 C. 輸送の安全に関する目標の有無及びその達成状況]

- 一般貸切旅客自動車運送事業の運転者の拘束時間は、4週間を平均し1週間当たり65時間を超えないものとする。ただし、貸切バスを運行する営業所において運転の業務に従事する者、貸切バスに乗務する者、乗合バスに乗務する者(一時的需要に応じて運行されるもの)及び高速バスに乗務する者については、労使協定があるときは、52週のうち()までは、52週の総拘束時間が3,400時間を超えない範囲内において、4週平均1週拘束時間を68時間まで延長することができる。
- 27.

[A. 12週 B. 16週 C. 24週]

・以下の文章のうち正しいものには○印を、誤っているものには×印を別紙の解答用紙に記入してください。

- 一般貸切旅客自動車運送事業の許可を受けた者が、運賃及び料金の設定の届出をしようとする場合、当該届出書には設定を必要とする理由を記載する必要はない。
- 28.

- 一般貸切旅客自動車運送事業者は、事業用自動車の運転者等ごとに作成する乗務員等台帳に、運転者等の健康状態を記載しなければならない。
- 29.

- 一般旅客自動車運送事業者は、年齢、運転の経歴その他政令で定める一定の要件を備える者でなければ、その事業用自動車の運転をさせてはならない。ただし、当該運行が旅客の運送を目的としない場合は、この限りでない。
- 30.

一般貸切旅客自動車運送事業の法令試験の解答用紙

申請者名

受験者名

採 点

点

(問題1～27は【A・B・C】のいずれかを記入してください。)

問題 1	問題 2	問題 3	問題 4	問題 5	問題 6	問題 7	問題 8	問題 9
B	B	B	C	B	C	B	B	B

問題 10	問題 11	問題 12	問題 13	問題 14	問題 15	問題 16	問題 17	問題 18
B	B	C	C	B	C	B	C	B

問題 19	問題 20	問題 21	問題 22	問題 23	問題 24	問題 25	問題 26	問題 27
A	B	B	B	C	A	A	A	C

(問題28～30は【○・×】のいずれかを記入してください。)

問題 28	問題 29	問題 30
○	○	○